

大豆品種「タチナガハ」と「アキシロメ」の次位別開花・  
結実習性に及ぼす播種期の影響

藤田 究

香川県における大豆品種「アキシロメ」の播種適期は、6月中旬～7月上旬であるが、梅雨期の降水量が最も多い6月下旬～7月初めを避けるとすれば、6月中旬と7月上旬の2つの時期が考えられる。しかし、「アキシロメ」の生育様相は、6月中旬播と7月上旬播ではかなり異なり、6月中旬播では過繁茂となって倒伏や蔓化しやすくなることが認められている。本報では、生育特性の一つとして、品種や播種期によって変化することが知られている開花・結実習性に着目し、中生の奨励品種「アキシロメ」に加えて大豆奨励品種決定試験で有望であった早生品種「タチナガハ」を供試し、6月中旬と7月上旬の播種期の違いが次位別開花・結実習性に及ぼす影響について検討した。

キーワード:アキシロメ,開花習性,結実習性,次位別分類,大豆,タチナガハ,播種期